



たもんのこ



令和8年8月31日
認定こども園
世田谷区立多聞幼稚園
園長 安部 裕子

『やってみたい』が育つ二学期に」

園長 安部 裕子

この夏も厳しい暑さが続きました。7月に発生した熊本地震では、停電や断水が長引いた上に猛暑も重なり、被害の広がりや心配されています。被害を受けられた皆様が、一日も早く平穏な生活を取り戻されますことを心よりお祈り申し上げます。

夏季休業期間中、くまのみクラブでは、園での水遊びを楽しんだり、多聞小学校のすくもりルームや図書室を利用させていただいたりし、普段とは異なる活動も取り入れながら元気に過ごしました。ご家庭で過ごされた皆様も、夏ならではの様々な経験を通して、思い出に残る夏休みを過ごされたことと思います。

私はこの夏、名古屋市で開催された全国国公立幼稚園・こども園教育研究協議会全国大会に参加してまいりました。変化の激しい時代を生きる子どもたちが、よりよい社会や幸せな人生の創り手となるためには、自ら課題を見だし、仲間と協働しながら解決していく力や、自分のよさを発揮しながら自分らしく生きる力を育むことが大切です。こうした力は、子ども自身が「やってみたい」と心を動かし、遊びに夢中になって没頭しながら、試行錯誤を重ねる過程の中で育まれます。二学期のスタートに当たり、子どもたちの気持ちを受け止め、その思いが豊かな経験につながるよう環境を整えていくこと、そして挑戦したり工夫したりする姿を丁寧に捉えていくことの大切さを改めて確認する機会となりました。同時に、保育者自身が専門性を発揮し、わくわくする気持ちを持ちながら日々の保育に向き合うことの大切さについても学ぶことができました。

脳をフル回転させてたくさん学んだ後には、ひつまぶしや味噌カツなどの「名古屋めし」も堪能し、東の間の旅気分を味わうことができました。園の職員も交代で休暇を取りながら、二学期の準備や各種研修に取り組み、見識を深めてまいりました。

また、8月の終わりには「ほしぞらようちえん」を開催することができました。子どもたちが「やってみたい」と様々なコーナーに挑戦し、子どもの笑顔を保護者の皆様と共に喜び合う和やかな機会となりました。開催に当たりましては、多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

二学期も、子どもたちが遊びを存分に楽しみ、「やってみたい」という気持ちを原動力としてさまざまな経験を積み重ねていけるよう、教育活動の充実に努めてまいります。

今月、各学年で大切にしたいこと

<年少>

- 一日の流れや園生活に必要なこと（所持品の始末など）を思い出しながら、安心して過ごせるようにする。
- 気に入った物や場を見付け、自分なりに遊ぶことを楽しめるようにする。
- 教師や友達と一緒に踊ったり走ったりして、体を動かすことの楽しさを味わえるようにする。

<年中>

- 園生活のリズムを取り戻し、自分のしたい遊びを見付けたり、友達や教師との関わりを楽しんだりできるようにする。
- 友達や教師と一緒に、身体を動かして遊ぶ楽しさや気持ちよさを味わえるようにする。

<年長>

- 園生活のリズムを取り戻し、自分の思いや考えを伝えながら、遊びを進めていこうとする。
- いろいろな運動遊びにすすんで取り組み、自分の力を発揮したり、友達同士で認め合ったりする。



お子さんが楽しく園生活を送るために

○毎日を持ちちよくスタートできるように、生活のリズムを整えていきましょう。また、一日のスタートとして、「おはようございます」とあいさつができるといいですね。

○動きやすい服装と靴で登園してください。運動会に向けて、体を動かす活動も増えてきます。運動会は半ズボンを着用しますので、普段からできるだけ半ズボンの着用をお願いいたします。体にぴったりしたジーンズや、ウエストをホックで止めるズボンなどは、動きづらさや扱いにくさがあります。また、靴はサイズの合ったものを履かせてください。上履きのサイズ確認もお願いします。

***衣類や靴など、全ての持ち物への記名をお願いします。**着替え袋の中の衣類は、気候に合ったものを用意し、汚れた物を入れるビニール袋も必ず入れてください。